

ながの若者チャレンジ 応援事業

企画政策部

関係部局・関係機関等

地域・市民生活部(地域活動支援課)／市民協働サポートセンター
高校、大学、専門学校等／長野商店会連合会 長野駅前商店会 など

目指すゴール

4 質の高い教育を
みんなに



11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



取組の概要と具体的な活動

取組の概要

「若者のやりたい、チャレンジしたい」を実現するため、まちづくり活動に参加する機会や、自由に集まり活動できる拠点を提供し、自主的な活動を支援する。

活動内容

1 「ながの地域まるごとキャンパス2024」の実施

地元企業及び団体の協力のもと、高校生・大学生等を対象に、学校や家庭以外の大人や地域との関りを生み、「まち」や「地域の人」に興味をもってもらうきっかけとなる、学び・体験・参加を支える様々なプログラムを実施する。

2 「ながの若者スクエア『ふらっとb』」の運営

若者が学校や自宅、部活以外で自由に集まれる拠点として「ふらっとb」を運営し、若者が主体的にまちづくり活動や自主活動に取り組む機運の醸成及び若者同士の交流会の実施、若者の活動への相談対応や活動支援金による支援を行う。

3 若者の思いや意見を交換する場の創出

若者の思いや意見を市と共有し、市政の参考とするため、意見交換する場や機会を設ける。



SDGsの推進

SDGsながの高校生書道パフォーマンス

企画政策部

関係部局・関係機関等

県内高等学校等

目指すゴール

4 質の高い教育を
みんなに



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



取組の概要と具体的な活動

取組の概要

社会全体でSDGsの目標達成に向けた活動を広げていくため、高校生による書道パフォーマンスを開催する。

活動内容

「SDGsながの高校生書道パフォーマンス」の開催

令和6年5月5日(日・祝)10時～16時まで、善光寺表参道(末広町～新田町交差点)で県内9校の高校生が参加し、「わたしたちが取り組むSDGs」をテーマに書道パフォーマンスを実施する。また、作品展を5月27日～7月18日まで長野市役所市民交流スペースで開催する。

<SDGsのポイント>

◆参加者(高校生)

- ・自校におけるSDGsの取組について生徒自らが取材を行い、気が付いたこと、考えたことや取り組んでいることなどを作品を通じて表現
- ・練習は、紙を繰返し使用したり、節水に取り組むなど常にSDGsを意識
- ・用具は、リサイクル率の高い用紙や簡単に洗い落せる墨汁を使用

◆長野市

- ・イベント時の屋外電源は排ガスの出ないポータブル蓄電池を使用
- ・開会セレモニーでは同時手話通訳を実施
- ・長野市ホームページ等での情報発信による意識啓発



長野市空き家バンク 制度の運営

企画政策部

関係部局・関係機関等

地域・市民生活部（地域活動支援課）
建設部（建築指導課 空き家対策室）

目指すゴール

11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナースHIPで
目標を達成しよう



取組の概要と具体的な活動

取組の概要

空き家が原因で生じる諸課題の解決と地域コミュニティの良好な生活環境を維持するため、地域及び関係団体と協力し、空き家の利活用を進める。

活動内容

以下により、空き家バンクの登録促進を図る。

1 長野市空き家バンクの周知

- 空き家バンクに関するチラシを配布する。
- 移住・定住にかかる地区説明会において、空き家バンクを周知する。

2 移住者空き家改修等補助金

移住者等が行う空き家改修工事、家財道具処分等に対し、補助を行う。

<補助内容>

【空き家改修工事】

- 補助率 2/3 大都市圏からの移住者かつ40歳未満の者: 3/4
- 限度額 市街化区域: 50万円 その他区域: 100万円
(移住世帯に15歳以下又は妊娠中の者がいる場合は最大60万円加算)

【家財道具処分等】

- 補助率 10万円以下の部分: 10/10 10万円を超える部分: 3/4
- 限度額 市街化区域: 15万円 その他区域: 30万円

<その他>

長野市空き家でお試し移住

× 地域とのつながりづくり事業

移住希望者が移住後の生活環境や暮らし方をイメージしやすいよう、空き家をお試し

移住体験住宅として利活用するとともに、登録物件などの空き家見学会を実施する。



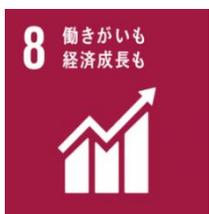
若者奨学金返還 支援事業

企画政策部

関係部局・関係機関等

経済産業振興部(商工労働課)
長野県産業労働部(労働雇用課)

目指すゴール



取組の概要と具体的な活動

取組の概要

若者のUJIターンの促進・定着や、本市産業の担い手となる人材の確保をするため、市内の企業に就職した若者の奨学金返還を支援する。

活動内容

長野市若者奨学金返還支援事業補助金

県外の大学等に在籍し(県外出身者の場合は県内の大学在籍も含む)、市内に本社がある企業へ就職する見込があるなど、対象要件を満たす30歳未満の若者(認定申請時点)を対象に、最大5年間で48万円の奨学金返還支援を行う。

<対象奨学金>

独立行政法人日本学生支援機構
第一種学資貸与金(無利息)・第二種学資貸与金(利息有)

<支援内容>

補助率:1/2 補助額:8,000円(上限額)／月×60か月(最長)

令和6年度 長野市若者奨学金返還支援事業補助金

最大5年間で48万円
を支援します。



N-TURN

支援額
返還金額の1/2
上限年96,000円



若者の定住促進及び産業の担い手確保を図るため、UJIターンにより長野市内企業に就職した方の奨学金返還を支援します。

▶▶対象者(交付申請ができる者) 次の全てを満たす者

- 次のいずれかに該当する者(UJIターン)
- ア 県外の大学等へ進学した者 長野県外の大学等を卒業し、又は修了した者
- イ 県外出身者で県内の大学等へ進学した者 大学等への入学の日に長野県外の市区町村の住民基本台帳に登録されていた者であって、長野県内の大学等を卒業し、又は修了した者
- 地元企業へ就職 長野市内に本社又は主たる事業所の住所を有する法人(国、地方公共団体等を除く。)との関係の定めのない労働契約が締結されていること。
- 補助金の交付期間の終了後も引き続き本市に住所を有し、定住する意思があること。
- 認定を申請する日の属する年度の4月1日において30歳未満であること。
- 大学等の在学中、長野地域に所在する事業所(※は、交遊や就職等)において、インターンシップ、大学等の教育に係る実習などの就業体験に参加していること。
※長野市、須坂市、千曲市、坂城町、小市町、高山村、信濃町、小川村、飯綱町

▶▶補助金の交付を受ける場合、在学中に認定が必要になります!

「長野市に定住したい」「長野市に企業へ就職したい」「長野市で認定が必要となる(予定)」対象者(交付申請ができる者)に該当する見込のある学生の皆さん、まずは認定申請を1※地元企業に就職を予定する年度の認定年度に認定申請 認定申請締切:令和7年1月31日

▶▶対象奨学金(補助対象経費 ※繰上償還額は除きます。)
日本学生支援機構 第一種奨学金・第二種奨学金

▶▶支援内容
補助率: 1/2 上限: 年96,000円(月8,000円) 最大: 60か月

都市ブランディング推進

企画政策部

関係部局・関係機関等

経済産業振興部／観光文化部／スポーツ部／農林部
中学・高校・大学・専門学校等

目指すゴール

11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナースhipで
目標を達成しよう



取組の概要と具体的な活動

取組の概要

長野市が将来にわたり魅力的であり続け、誰もが暮らしやすい都市として発展するため、市内外に「長野市ならではの価値＝都市ブランド」への共感の輪を広げる。

活動内容

1 市民の皆さんとの連携

デザイン系専門学校等における都市ブランドデザインを用いた制作活動への支援、市内学校の教育課程へのデザイン活用の促進、都市ブランドへの理解の増進に向けた市民ワークショップの実施などに取り組む。



2 企業・団体との連携

企業・団体の商品・サービスに都市ブランドデザインの採用を促すとともに、民間会社の広報コンテンツ等とデザインとのコラボレーションに取り組む。



3 クリエーター・デザイナーとの連携

クリエイター・デザイナーの得意ジャンル・専門分野における都市ブランドデザインを活用した制作活動、情報発信等の取組を支援する。

中山間地域AIオンデマンド 交通システムの導入

企画政策部

関係部局・関係機関等
地域・市民生活部(各支所)

目指すゴール

9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



11 住み続けられる
まちづくりを



取組の概要と具体的な活動

取組の概要

誰もが住み慣れた地域で生活を持続できる環境を実現するため、AIを活用した交通システムを導入し、中山間地域における公共交通を維持する。

活動内容

1

信州新町・中条地区のエリア一体運行の開始と 戸隠・鬼無里地区の一体運行開始準備

信州新町・中条地区のエリア一体運行を開始するとともに、戸隠・鬼無里地区の一体運行開始に向け、住民向け説明会を実施するほか、運行事業者の選定、運行許可申請等を行う。



2

今後のエリア拡大に向けた準備

他の中山間地域へのエリア拡大を見据え、各地域に対し情報提供を行うとともに、令和8年度以降のエリア拡大に向けた準備を行う。